

# ふくし ふれあい

## CONTACT WITH WELFARE

冬号  
2022年  
1月10日  
No.80

発行 一般社団法人 熊本県労働者福祉協議会 発行者 友田孝行 編集者 浦本公也 E-mail rofuku@lime.ocn.ne.jp  
事務局 〒862-0976 熊本市中央区九品寺1丁目17-9 TEL096-375-6029 FAX096-375-6030 http://kumamoto.rofuku.net/

年頭に  
寄せて

## 感染症の収束が見通せない中、連帯・協同の運動継続を

一般社団法人 熊本県労働者福祉協議会 理事長 友田 孝行

明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃より、労働者福祉運動の前身に向けた取り組みとともに、福祉事業団体の事業推進に対するご理解・ご協力に厚く御礼申し上げます。



さて、国内ではこの20年余り、デフレ経済の下に低所得・不安定雇用が増加し、貧困と格差が拡大してきました。加え、新型コロナウイルス感染拡大により、有期・短時間・契約やフリーランス等で働く、弱い立場に置かれた方々が深刻な影響を受け、社会的セーフティネットの脆弱性も明らかになりました。

これまで、中央労福協ではコロナ禍で苦しむ方に対し、生活・就労応援基金として「ろうふくエール基金」を設置し、基金への呼びかけとともに、支援事業の相談員への応援や、緊急生活支援の助成等に取り組んできています。

また、教育費や奨学金返済の負担を軽減する税制支援の実現をめざし、ハッシュタグ運動やオンライン署名等にも取り組み、皆さんからもご協力をいただいているところです。運動を継続し、社会的セーフティネットを強化して、貧困や分断をなくし、誰もが安心して学べる社会を実現していかなければなりません。

昨年の熊本県労福協の取り組みでも、感染症拡大防止の観点から、第10回通常総会（2021年5月開催）も一昨年にも引き続き、書面議決の総

会としたのをはじめとして、開催形態の見直し、延期・中止など、対応に追われた一年でした。県内での新規感染者数が落ち着いてきた12月には、感染症拡大対策を講じながら、連合・労福協合同研究集会をリアルにて開催することができ、フェイストウフェイスの大切さを再認識したところです。

感染症の収束が見通せない中、引き続き当面は状況を見極めながら、リアルとデジタルを活用した運動推進となりますが、「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」の実現に向けた取り組みに対する、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

皆さんにとりまして、実り多き一年となりますよう心より祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

## 2022 年度の役員の皆さんです。よろしくお願いします。

役職名	氏 名	選出団体	役職名	氏 名	選出団体
理事長	友田 孝行	連合熊本(電機連合)	理 事	峯 潔	連合熊本(自治労)
副理事長	上田 淳	福祉事業団体(JP 労組)	理 事	倉岡 興平	連合熊本(JP 労組)
副理事長	田川 仁	福祉事業団体(自治労)	理 事	中谷 真弥	連合熊本(電機連合)
副理事長	松村 勲	連合熊本(自動車総連)	理 事	河野 泰博	連合熊本(情報労連)
専務理事	浦本 公也	連合熊本(国公連合)	理 事	山本 寛	連合熊本(情報労連)
理 事	梶田 秀治	福祉事業団体(UA ゼンセン)	監 事	杉田 正幸	連合熊本(熊教組)
理 事	矢野 良輔	連合熊本(交通労連)	監 事	猿渡 研一	連合熊本(JAM)
理 事	園田 海舟	連合熊本(電力総連)	監 事	嶋田 重信	福祉事業団体(労働金庫)
理 事	山野 雄一郎	連合熊本(運輸労連)			

2016年（平成28年）  
熊本地震を乗り越え

一般財団法人  
法

熊本市労働者福祉会館完成

## 2021年12月18日「開館記念レセプション」を開く

### 熊本市労働界の拠点として 祝「開館記念レセプション」

一般財団法人 熊本市労働者福祉会館



一般財団法人・熊本市労働者福祉会館は、2021年12月18日、熊本市労働者福祉会館3階大会議室で、熊本市労働界の拠点とする開館記念レセプションを開催、来賓・関係者など47人が出席し、新しい会館を喜び合いました。

主催者を代表して友田代表理事が「1973年4月に多くの先輩や関係者の皆さんによってスタートした労働者福祉会館が、2016年の熊本地震で会館が利用できなくなりましたが、労働会館は必要とい

うことから新しくつくることとなり、本年再建することができました。建設会社を始め、関係機関のお力で会館を再建することができました。4月からオープンし各団体にはすでにご利用いただいております。先輩たちからバトンを引き継ぎ運営をしていきます」と挨拶しました。続いて熊本市や九州各県の団体、福祉会館を運営してきた歴代の皆さん達が祝辞を述べて、新しい労働者福祉会館を祝いました。

続いて熊本地震後、会館建設再建に乗り出した労福協の末長前専

務理事（当時）が、組織を代表して県や関係機関、諸団体、建設会社などと協議をしながら労働者福祉会館建設に東奔西走した思い出

▶ 末長前専務理事（当時）  
が思い出を語る



を語り、会場から惜しみない拍手が送られました。

閉会は出席者全員で記念写真を撮り散会しました。



## 2021年度・連合熊本・県労福協合同研究集会開く

### 熊本学園大学社会福祉学部の宮北先生が講演

2021年度連合熊本・熊本市労働協同研究は、「ポストコロナの時代における共助の力」をテーマに、熊本学園大学社会福祉学部教授・水俣学現地研究センター長 宮北隆志先生を講師に招き「いまだからこそ考えよう！持続可能でレジリエントな暮らしと社会の再構築」について講演をいただきました。

水俣学現地研究センターや蘇陽町での取り組み、熊本地震時の学園大独自の避難所運営の話の後、持続可能な発展とは、「将来の世代のニーズを満たす能力を損なうことなく、現在の世代のニーズを満たすこと」であり、

地球環境が有限であることを認識し、その限られた環境の中で人々の生活の質的

改善（生命の質、生活の質、人生の質… 3つの生）を継続していくことが必要であること。そして、新型コロナウイルスによる感染拡大により何が起きたのか、起きているのか、コロナ時代を乗り越えた後、私たちはどのような未来を選択しようとしているのかと問題を提起されました。

そして「3つの密」から「3つの生」



マイナスからゼロへ、ゼロからもっとプラスへ、また、ふれあい活動と地域でつくる福祉について提案されました。今の現実（コロナ禍）である「分断 つながりの喪失」「行政・専門家への依存 無力化」「格差の拡大 不公平な社会、貧困の固定化」を自分たちの手（地域）に、そして人と人との「つながり」を取り戻すための「地域力」をつけよう。それは、一人一人が地域における役割（生きがい）を持っていること、人と人とのふれあい（コミュニケーション）があること、そして「協働（パートナーシップ）」それが「地域力」であると訴えられました。



## 福祉事業団体

## 新年のごあいさつ“今年も皆さんと共に”

2022年、あけましておめでとうございます。



九州労働金庫  
熊本県本部  
本部長

上田 淳

一昨年から続くコロナ禍の中で、昨年も大変な一年であったと思います。今年こそは、コロナが終息し、安定した年になることを願うばかりです。

今年は「壬寅（みずのえとら）」の年です。「陽気をはらみ春の胎動を助く」、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力にあふれ、華々しく生まれる年とされています。

労働者福祉運動も、一昨年から続く、厳しい環境の中でも、働く者の助け合いの運動がどれだけ重要な運動であるかが、再発見されたとも感じるところです。労働組合と労働者福祉事業体が協働することによって、働く者の共助の輪

を広げ、「働くことを軸とする安心社会」を実現していくことが求められています。

労働金庫も、その一翼を担えるよう、役職員一体となって労働者福祉運動を支えていく所存です。

熊本県労福協に結集するすべての皆さんが、本年が良い年になりますことを祈念申し上げ、年頭の挨拶とします。

明けましておめでとうございます。



こくみん共済  
Coop熊本推進  
本部 本部長

田川 仁

旧年中は、こくみん共済coopの運動と事業への格別のご理解とご協力を賜り心から御礼申し上げます。昨年も、全国各地で自然災害が猛威を振るいました。

全国的に自然災害などへの備えとして「災害時無保障者の解消」に取り組んでいます。

昨年度の事業実績は、「予定付加」「純増実績」で目標を達成することができました。本年も、昨年度に引き続き、「予定付加」「純増実績」「新規・増口」の目標達成にむけて取り組みます。特に団体生命共済制度改定に伴う提案活動、マイカー共済の「7才の交通安全プロジェクト」、こくみん共

済「こども成長応援プロジェクト」を柱として、目標を設定して取り組みます。

こくみん共済coopの理念である「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」を実現するために、組合員への「お役立ち」発想と「共創」で時代の変化に対応したこくみん共済coopをめざします。本年もどうぞよろしくお願いします。

あけましておめでとうございます。



ユニオン  
トラベル熊本  
理事長

梶田 秀治

旧年中はユニオントラベルをご利用いただきありがとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、業績が大きく悪化し低迷

をいたしました。

コロナ感染症の猛威は予断を許さない状況が今なお続いています。皆様におかれましてはご健康で過ごされることとお祈り申し上げます。

旅行業界・ホテル旅館業を始めとする宿泊業や飲食業、各種交通関連の業績も大変困難な状況が続いています。コロナ禍にあって、お客様にとっても大切なご家族・ご友人との面会が思うようにでき

ない日々が続いたのではないのでしょうか？ご家族との団欒やご友人との語らいは、私たちの心を和やかにするために必要ではないのでしょうか。

ユニオントラベルの事業は、働く人々の心の豊かさをつくるお手伝いをさせていただくためにあると考えます。その使命を果たすため今年も精一杯努めさせていただきます。旧年に変わらず皆様のご利用を心からお待ちしています。

噴煙

昨年は阿蘇山で爆発が発生した。まさかタイトルと同じ噴煙が立ち昇るとは。まさに生きている阿蘇山だ。自然はやはり生きている。同じように地球にはまだ知られていない物や、

コロナのような菌（きん）があるに違いない。人間は自然を克服することはできないと思う。だとすれば共存共栄の道も探さなければ、とふと思いついてしまう。

# 2021年度を振り返ってライフサポートセンター相談内容と課題

相談件数は141件と、昨年度の284件から半数に減りました。これはコロナ禍の中で行政等による生活相談体制や周知の充実が図られたためと考えていますが、労働相談に対するニーズは高いと考えています。

相談経路はいわゆる口コミ、紹介も増えている他、今年はホームページやSNSを通じての相談が増加傾向にあります。内容は、コロナに関

する補助等の制度概要、解雇、賃金未払い、ハラスメントの相談も多く寄せられています。また、採用時に説明された労働条件と違う、一方的な労働条件の改悪といった労働条件に関する相談も少なくありません。

センターでのアドバイスにより解決しない場合は、連合熊本ユニオンが事案を引き継ぎ、団体交渉等による事案解決のケースも少なくあり

ません。また、生活困窮の相談も増えており、行政や社協、反貧困ネットワーク参加の各種団体等との連携が重要になっています。なお、2021年12月からは外国人労働者や専門性の高い相談への対応を可能にするため、連合本部が全国の相談を一括して受け、必要に応じて各県で再対応するシステムへ移行しています。

医療法人社団  
熊本労安会

## 秋津レークタウンクリニック

■診療科目／内科、小児科、神経科、リハビリテーション科

いのちと健康が  
なによりも大切にされ  
一人ひとりが  
かけがえのない  
存在として尊重される  
そんな医療と社会を  
めざしています

- 理事長／木村孝文
- 院長／山口秀樹
- 入院／無
- 駐車場／有

午前 月曜日～土曜日／9:00～12:00  
午後 月曜日～金曜日／2:00～6:00  
土曜日／1:30～3:00  
※ただし、木曜の午後と土曜日の午後は  
鍼灸はお休みです。  
休診日／日曜日・祭日

〒861-2105 熊本市東区秋津町秋田3441-20 ☎368-6007

## ユニオントラベル熊本からあなたへ

### くまもと再発見の旅

新型コロナウイルスの影響でダメージを受けた県経済を後押しするため、1人1泊あたり最大5,000円の助成が受けられるキャンペーンです。さらに税込6,000円以上の宿泊プランや日帰り旅行の場合、旅先の飲食やお土産で利用できる地域クーポン2,000円分が付与されます。

助成期間：2022年3月10日の宿泊まで

宿泊料金	豪雨被災地域※1	豪雨被災地域以外	旅行代金	豪雨被災地域※1	豪雨被災地域以外
10,000円 (税込)以上	5,000円 助成	日曜～金曜 5,000円助成 土曜及び指定日(※2) 3,000円助成	10,000円 (税込)以上	5,000円 助成	日曜～金曜 5,000円助成 土曜、日曜、祝日 及び年末(※2) 3,000円助成
10,000円 (税込)未満	半額 助成	日曜～金曜 半額助成 土曜及び指定日(※2) 1,500円助成	10,000円 (税込)未満	半額 助成	日曜～金曜 半額助成 土曜、日曜、祝日 及び年末(※1) 1,500円助成

(※1) 豪雨被災地域：八代市、人吉市、芦北町、錦町、あさぎり町、多良木町、湯前町、水上村、相良町、五木村、山江村、球磨村、津奈木町、小国町、南小国町  
(※2) 指定日：12/29(水)～1/2(木)、1/9(日)、2/11(金)  
※豪雨被災地域は、宿泊旅行助成と同じ  
(※1) 年末：12/29(水)～12/31(金)

ユニオントラベル熊本ではお客様に代わり、全ての手続きをいたします。  
めんどろな手続きはユニオントラベル熊本にお任せください。

お問い合わせは



生協 法人 ユニオントラベル熊本

TEL(096)371-2022  
FAX(096)363-2866

熊本市中央区九品寺1丁目17-9-2F 熊本県知事登録2-34号 総合旅行業務取扱管理者 堀内 淳

## 編集後記

2022年新しい年のスタート。この2年、新型コロナウイルス感染症は私たちの日常生活を翻弄してきた。残念なことに、変異種のオミクロン株が蔓延しつつあり、すでに3回目のワクチン接種も始まっている。しかしながら、途上国では、接種を完了した人が少なく、ここでも格差が広がっている。自分だけでなく、ほかの人たちも感染から守らなければ結局パンデミックを長引かせることになる。ふと、「貧困・格差のない社会の実現に向けて、助け合いの輪を繋ぎ広げよう」を掲げている労福協の一員として…何とも言い難い思いがしているが、どうだろうか？皆さんは？人間の英知を結集して、一日も早く新型コロナウイルスを終息させなければ。(U)